

「もったいない・ピース・エコ・ショップ」運動についてのお願い

平成6年「もったいない」の気持ちから生まれたピース・エコ・ショップは、皆様の暖かいご協力と継続したご支援のお蔭で、会の事業として位置づけられ、これまでに世界平和や命の支援に総額2500万円以上を送る事ができました。一人ひとりの力が集まれば、自分の足元から世界平和という大きな問題にも、関与、貢献できるということに、日々連帯の喜びや元気、張り合いなどを頂いています。

そして、この度、それまで形がなかったショップを、農場の一隅に廃材等を活用してもったいないハウス、ピース・エコ・ショップとして整備しました。そして、これを機に、これまでの活動を総括し、現代の危機的状況に対して、普遍的、根本的視点に立ち、宮澤賢治のイーハトーブ（理想郷）を目指して、活動を展開していこうという事になりました。

1 活動の名称 「もったいない・ピース・エコ・ショップ」運動

2 活動の目的

日本に、もったいない精神と世界平和と環境保全の三つを組み合わせた「もったいない・ピース・エコ・ショップ」の最初のモデルを作り全国に広げていく事が、これからの世代にかつての日本の良さを伝え、日本人としてのアイデンティティを取り戻し、現在日本が置かれている危機的状況から一人ひとりが自分の行動力で生き直していく一助になると考えました。

3 具体的な内容

(1) イギリスのチャリティショップの仕組みを採り入れ、「もったいない」の門戸を広げ、社会的経済格差を少しでも軽減する運動を進めて行く事です。

イギリスのチャリティショップとは、一般市民によって寄付された中古の本、衣類、陶器、家具などを販売し、その収益金を各々の目的の所に寄付するという仕組みで、ある一慈善団体によって1948年に設立され、現在ではイギリスとアイルランドに一万店近くのチャリティーショップがあるそうです。

このショップの特徴は、

- ① 寄付する側は、使えるけど使っていない、もったいない物を活かすことができ、自分の身の回りも片付いて気持ちがよく、更に社会のためになる。
- ② 買う側も安く買えて、同時に社会のためにもなる。
- ③ 社会全体にもったいない風が吹き、ゴミの減量化と助け合いの輪が広がる。

そこで、これまでの品目に加えて、チャリティーショップで販売している品物やまだ使える電気製品などを皆様から寄付して頂きたいと思っております。家を整理したり、移ったりする時などに、もったいないと思われる物がありましたら、このお願いをぜひ思い出し、ご連絡またはお持ち頂ければ有難いです。

- (2) 3/11以来日本中を苦しめている新たな環境問題への対応です。この根本的解決は、未だ示されておりません。私達は、それ以前から「次世代のため、元気、安心、希望を与える住民参加の有機の里創り」という理念を掲げ、「坂東市有機の里創り研究会」部会を発足させ、坂東市にバイオマス活用推進計画の申請を働きかけ、それに有効な微生物の培養に取り組んできました。それがEMの中の主役である光合成細菌です。

そして、3/11の後、その微生物が放射能を減らすという事を知り、市の測定器でそれを検証、確認しました。そこで県の「コミュニティー協働事業」に「光合成細菌を使った生ごみの自家処理法と安全な社会創り」という題名で応募し、採択され、その助成金も充てて、培養のためのビニールハウスを建てる事ができました。

また、それによって市の後援でフォーラムを開催、市の環境基本計画にも掲載され、市からバイオマス活用推進計画申請に着手する旨の回答も頂きました。

現在はピース・エコ・ショップを通して、その普及に努めています。生ごみ、米のとぎ汁、廃油などは、そのまま廃棄すれば費用もかかり、環境を汚しますが、EMや光合成細菌等の有用な微生物の力を借りれば、もったいない立派な資源となります。これらは、生活に密着した良い教材なので、今後は、小中学校の総合学習や環境体験学習を通して、親子共々にもったいないを伝える事に力点を置いて、社会に発信していけたらと思っています。

以上二つのことを核に、皆様のご協力でもったいない・ピース・エコ・ショップが時代を変えるお手伝いできれば幸甚の喜びです。

今後は、ここに集う人たちが、つながりあえ、お互いを活かしあえる関係を築いていけたらと願っています。

このお願いで最も願う事は、日本各地に「もったいない・ピース・エコ・ショップ」が出来てくれることです。それによって、これまで68年間平和を大事にしてきた、日本人の世界平和を願う気持ちと、日本人が自然への畏敬と感謝から生まれた「もったいない」が育てた知恵の文化が、自然と世界に伝わり、日本人の国民性が正しく理解され、継続性のある国民外交となるからです。

同時に、国内でも各地に出来る事で、次世代へ「もったいない」の風が生活の中に浸透していき、世代間の交流も生まれます。

ショップの場所や売る物やショップの時間などは、各自の自由で、自宅の一室やガレージでもよく、一週間に一度でもよく、もったいない精神と平和を願う持ち主なら、どこでも誰でも可能です。

私が子供心で発想し、周囲の共鳴を頂いて、20年近くも続くとは予想だにしませんでした。日本人で特にご年配の方でしたら、どなたでも「もったいない」はお持ちです。それを活かすことは、自分も社会も元気に明るくしてくれ、連帯の和が広がります。

もちろん色々な事情で無理な方には、品物をご提供頂けることで十分です。提供あってこそ、ショップも成立するのですから。

最後に、「もったいない」を少しでも多くの人たちにわかって頂くために、拙い歌ですが、ピース・エコ・ショップのテーマソングとして活用して頂ければ有難いです。以上について、忌憚のないご意見やご感想をお待ちしています。

もったいないは二つのエコ

詩と曲 小野 羊子

- I、 もったいないは 二つのエコ 二つのエコ
エコロジー アンド エコノミー
ラランラ ランラン もったいないで みんながつながろう
もったいないで 地球をクリーンに
もったいないで みんながつながろう
- 2、 もったいないは 日本の宝 日本の宝
世界に伝えよう 世界に広めよう
ラランラ ランラン もったいないで みんなが幸せに
もったいないで 地球を楽園に
もったいないで みんなが幸せに

〒306-0505 茨城県坂東市菅谷2118

NPO 法人猿島野の大地を考える会

TEL&FAX 0280-88-7670

<http://d.hatena.ne.jp/sashimano/20130901>